

1. 製品および会社情報

製品および会社情報:

製品名: HVU
使用目的: コンクリート用カプセル方式接着系アンカー
輸入業者・販売業者: 日本ヒルティ株式会社
 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20
 電話: 045-943-6211
 Fax: 045-943-6231
情報管理部門: プロダクトマーケティング本部
緊急連絡先: 電話: 045-943-6211 Fax: 045-943-6231

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響: 皮膚に触れると感作の恐れがあります。

GHS 分類(危険記号):



Xi 刺激性

人体及び環境に対する特定の危険情報:

R36	眼に対する刺激性がある。
R43	皮膚に触れると感作の恐れがある。

危険有害性の分類情報:

最新版 EC リストに準拠していますが、文献情報及び今後の弊社からの情報により変更になる場合があります。

その他の情報: なし

3. 組成、成分情報

化学的組成: この製品は 2 成分のカプセル容器入りで、ウレタンメタクリル樹脂、過酸化ジベンゾイル(硬化剤)、無機骨材を含みます。

- 1) 主剤: ウレタンメタクリル樹脂及び無機骨材
- 2) 硬化剤: 過酸化ジベンゾイル混合物

化学的性質: この製品は、 の化学物質を含みますが、最終製品(生成物)には危険有害性はありません。

危険有害性物質: 以下の通りです。

成分	危険有害性	含有量	CAS 番号など
メタクリル酸ヒドロキシプロピルエステル	Xi; R36-43	2.5-10%	CAS: 27813-02-1 EINECS: 248-666-3
ジベンゾイルパーオキサイド(過酸化ジベンゾイル)	Xi, E, O; R2-7-36-43	<2.5%	CAS: 94-36-0 EINECS: 202-327-6

危険有害性の記号については、セクション 16 を参照下さい。

4. 応急措置

一般的情報:	製品が付着した衣服は直ちに取り除いて下さい。
吸入した場合:	新鮮な空気のところまたは換気された場所へ移動し、安静にして下さい。異常があった場合は医師に相談して下さい。
皮膚に触れた場合:	直ちに水と石鹸で洗浄し、きれいな水で洗い流して下さい。
目に入った場合:	直ちに多量の流水で数分間洗い流して下さい。その後、医師に相談して下さい。
飲みこんだ場合:	直ちに水で口内を洗い流して下さい。無理に吐かせないで下さい。医師に相談して下さい。
発症する可能性のある症状:	アレルギー反応

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	粉末消火器、砂、泡消火器、二酸化炭素消火器、水スプレージェット
不適切な消火剤:	水のみでの消火(例:バケツの水をかけて消火)は安全性の面から避けて下さい。
保護具:	自給式呼吸器具及び保護具を着用して下さい。
火災時特有の危険有害性:	燃焼生成物として、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素が含まれます。特定条件では微量の毒性ガスが発生する場合があります。
特有の消火方法:	小規模火災の場合は粉末消火器及び泡消火器を使用します。大規模火災の場合は放水または耐アルコール泡遮断方式が有効です。
消火を行う者の保護:	保護具を着用すると共に、燃焼ガスを吸引しないように注意して下さい。

6. 漏出時の処置

人体に対する配慮:	保護作業着を着用して下さい。着火源を近づけないで下さい。
環境に対する配慮:	下水道、河川などの水環境への流出を防止して下さい。土中へ埋めないで下さい。
清掃方法:	漏れ出したものを掻き集め、集めたものは所定の容器に入れてセクション 13 に基づき産業廃棄物として処分して下さい。
砂などの吸着剤で吸着してから除去して下さい。	
二次災害防止方法:	漏出物も可燃性ですから、漏出場所は火気厳禁とします。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱】

技術的な対策:	硬化剤中には「過酸化ジベンゾイル」が含まれておりますので、取扱上、セクション 8 に留意して下さい。
取扱上の注意:	化学物質の取扱上の一般的な注意事項を守って下さい。
安全上の注意事項:	使用前に、製品箱に記載されている有効期限を確認して下さい。

爆発・火災防止に関する注意: 着火源は近づけないで下さい。取扱場所は禁煙です。

使用場所に関する注意事項: 熱、直射日光のない場所で使用して下さい。

【保管】

保管上の注意: 冷暗所(+5 ~+25)の乾燥した場所で所定の容器(カプセル)の状態で保管して下さい。熱及び直射日光を避けて下さい。

保管倉庫での保管: 食料品と一緒に保管しないで下さい。

保管場所での注意事項: 熱及び直射日光を避けて下さい。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度: 許容濃度が規定されている物質は含有されていません。

作業者に対する一般的な注意事項:

- 1) 化学物質の取扱上の一般的な注意事項を守って下さい。
- 2) 作業中は飲食、喫煙を禁止します。
- 3) 皮膚保護のために保護クリームを使用して下さい。
- 4) 休憩時及び作業終了時は必ず手を洗って下さい。
- 5) 飲食物から遠ざけて下さい。

呼吸対策器具: 特に必要ありません。

手の保護:

- 1) 保護手袋使用(製品に直接接触することは避けて下さい。)
- 2) ニトリルゴム(NBR)のような耐久性の優れる手袋を使用して下さい。
- 3) 製品の跳ね返りにより付着する場合は、ニトリルゴムの手袋を推奨します。
- 4) 保護手袋には所定の使用可能時間がありますので、その時間を守って下さい。
- 5) 不適切な手袋: 革製の手袋、強化手袋

目の保護: しっかりシールできるゴーグル型の保護メガネを使用して下さい。

身体の保護: 保護作業服を着用して下さい。

9. 物理的及び化学的性質

形状: フォイルカプセル

色: 主剤: 黄色の液体
硬化剤: 白色の粉末

臭気: エステル臭

状態変化

- 1) 融点: 不測定
 - 2) 沸点: 不測定
- 引火点:** 101 以上 (DIN 53213)
- 分解温度 (硬化剤):** +55 (SADT)
- 自己燃焼性:** なし
- 爆発危険性:** なし

蒸気圧(20):	0.1 hPa
密度(20):	主剤: 1.1 g/cm ³ 硬化剤: 1.23 g/cm ³
水に対する溶解度:	不溶性
粘度(20):	動粘度: 300 mPa·s 以上 (DIN 53788)
溶剤含有量:	有機溶剤: 0% 水: 0%

10. 安定性及び反応性

熱分解性 / 回避すべき条件:	弊社の仕様に基づいて使用すれば分解はありません。
危険な反応:	これまでに知られている危険な反応はありません。
分解生成物の危険性:	正しく保管、取扱いされていればありません。

11. 有害性情報

本質的な刺激反応:

- 1) 皮膚: 皮膚と粘膜に炎症などの影響あり
 - 2) 目: 炎症
 - 3) 感作: 皮膚との接触により、感作の可能性あり
- 追加毒性情報: 最新版の GECCG (General EC Classification Guidelines for Preparations) の算定方法によると、刺激性の危険性があります。
皮膚に触れると、感作を引き起こす可能性があります。

12. 環境影響情報

本製品は有機的に結合したハロゲン含有していません。

水質危険性クラス: 1(ドイツ規制) (自主規制)、水環境に対してわずかに危険性があります。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物の処理: 一般ゴミとしないで、産業廃棄物として処理して下さい。所定の産業廃棄物処理業者に委託して下さい。
- 汚染容器及び梱包の処置: 上記と同様に処理して下さい。
- その他: 漏出物を処理した砂なども産業廃棄物として、上記と同様に処理して下さい。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 ADR/RID (国境を越える)

ADR/RID-GGVS/E クラス: ADR では、危険物質として分類されません。

海上輸送 IMDG:

IMDG クラス: -

海洋汚染:	なし
注記:	上記規制では、危険物質として分類されません。
空輸 ICAO-TI, IATA-DGR:	
ICAO/IATA クラス:	-
注記:	上記規制では、危険物質として分類されません。

15. 適用法令

EC ガイドラインでの名称:

本製品は、ECDOHM (EC Directives / Ordinance on Hazardous Materials) に準拠し、分類し名付けられています。

コード及び危険記号:



Xi 刺激性

ラベル表記が義務付けられている危険物質

メタクリル酸ヒドロキシプロピルエステル(ウレタンメタクリル樹脂)

ジベンゾイルパーオキシサイド(過酸化ジベンゾイル)

リスク表示:

- 36 眼に対する刺激性
43 皮膚に触れると感作の恐れあり

安全表示:

- 3 冷暗所に保管すること
26 万が一、眼に入った場合、ただちに水で眼を洗い、医師に相談すること
28 皮膚に触れた場合、ただちに石鹸と水で洗い流すこと
36/37/39 適切な保護衣服、保護手袋、保護眼鏡を着用すること

国内適用法令:

消防法	危険物第 5 類自己反応性物質 (過酸化ジベンゾイルに関する情報)
労働安全衛生法	危険物・爆発性の物 (過酸化ジベンゾイルに関する情報)
航空法	酸化性物質類・有機過酸化物 (過酸化ジベンゾイルに関する情報)
船舶安全法	酸化性物質類・有機過酸化物 (過酸化ジベンゾイルに関する情報)

16. その他の情報

一般的な注意事項:

- これらのデータは、現時点での最新の情報です。しかしながら、これらはいかなる特定の製品特徴を保証されるものではなく、かつ法的に契約保証するものではありません。また、本製品は建築用途に使用されるものであり、それ以外の用途で使用される場合を想定しておりません。従って、建築用途以外で使用される場合は、使用者において安全性を確認して下さい。



2) 尚、これらの情報は適時見直しを実施し、予告なしに変更する場合があります。ご使用に際しては最新の情報であることをご確認下さい。

リスク表示関連:

- | | |
|----|----------------------------------|
| 2 | 衝撃、摩擦、火気あるいはその他の発火原因により、爆発の可能性あり |
| 36 | 眼に対する刺激性 |
| 43 | 皮膚に触れると感作の恐れあり |
| 7 | 火災を引き起こす可能性あり |

MSDS 担当部署:

日本ヒルティ株式会社
神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-6-20
電話: 045-943-6211
Fax: 045-943-6231

* は、旧 MSDS からデータが変更された箇所です。